



新

令和6年9月3日 校長 山口仁志

やくも小だより 9月号 (第11号)



2学期が始まって1週間がたちました。子どもたちのスイッチも入って、学校生活はだいたい元に戻っているかと思います。子どもたちのスイッチはオンオフは、毎朝の門でのあいさつで感じることができます。始業式から3日間、3つの門で順に立ちましたが、あいさつの声は今一つでした。でも2周目の先週木曜日には、子どもたちのほうからちゃんと「おはようございます」が出るようになって、「スイッチ入ってんな～」とうれしくなりました。



がんばって廊下の汚れをこすってます



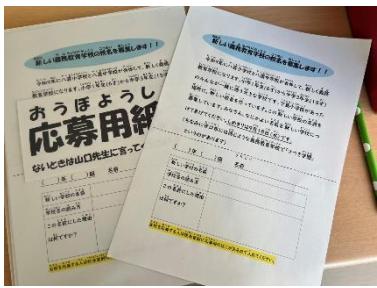
給食も再開しました



ジャム付きのパン、なんだか久しぶり

新しい学校の名前を募集しています！

COCOO でもお知らせしたとおり、9月18日まで新しい学校の名前を募集しています。八雲小でも応募用紙と応募箱を設置したところ、たくさんの子どもたちが考えた校名を書いて応募箱に入ってくれています。中身はまだ見ていないのですが、たぶん50枚ぐらいは入っていて、応募作を見るのが楽しみです。僕自身もずっと前から考えていた名前があって、応募していいものなら応募したいなあ、と思っています。保護者のみなさんもよい名前があればぜひぜひ！



5年生が学校でガンプラを作りました！

といっても遊びではありません。れっきとした社会の「我が国の工業生産」に関連した学習です。日本が誇るプラモデルの製造過程や優れた最新技術について学び、実際にガンプラをつくることでモノづくりへの興味関心・理解を深める学習です。また、廃プラをリサイクルすることで SDGsの学習側面もあります、、が、昭和ガンプラ直撃世代の私としては、教室で子どもたちが黙々とガンプラをつくる様子を見て、ある意味感動の涙を禁じえない、、よい時代になったなあ、、しみじみと静かな感動を感じていました。(大げさ)

